

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 9日		～ 2024年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年 11月 9日		～ 2024年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	狭いスペースの中でもしっかりと構造化ができています	職員全体で話し合い、定期的に校舎内のレイアウトを変更し構造化を行っている。また、必要なパーテーションなどは手作りで自作するなどしている。教材が非常に多いので、収納スペースを確保できるように工夫している。	より広いテナントに移動できるのがベストだが、今は現実的ではない。収納スペースを工夫し、これ以上利用者さんの活動スペースが狭くならないように工夫していく。
2	職員全員でお子さんを見るという意識があるところ	校舎全体の様子が見えるような支援スタイルであるため、担当以外の利用者さんの動きにも気を配ることができる。専門的支援実施においても、複数の職員で対応できるようにしている。	1年に一回担当指導員を変更することで、指導員がどの利用者さんの療育にも携われるような機会を作り、アットホームな事業所にしていく。
3	定期的にイベントなどを開催しているところ	外部から講師を招いてのサイエンスイベントや、地域の施設を使った運動会イベントなど、校舎外とのつながりもしっかりと作りつつ充実したイベントを開催することができた。保護者・利用者さんともに好評であった。	今後も外部講師と連携したイベントを企画している。今までイベントに参加できていない利用者さんも参加できるように日程調整を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者さんの安全に対する意識	校舎の入り口を開けっ放しにしてしまうことで、飛び出しの危険性などあった。校舎の前は自転車もよく通るので、不安に思っている保護者さんもいる。	危険性のある個所について職員全体で話し合い、共有を行っていく。また、改善できるように職員同士でお声掛けを行っていく。
2	校舎が狭い	この事業所を開所当時にテナントの選択で失敗していると思う。療育するにはある程度の広さが必要だと感じる。	指導員をこれ以上増やすとさらに狭く感じてしまうため、指導員5人体制を維持したい。収納スペースを工夫し、極力活動スペースを広くしたい。可能であればもっと広いテナントに移転したい。
3	保護者支援が充実していない	利用者さんへの支援は充実しているが、あまり保護者さんに対してしっかりと助言ができる時間を作れていないように感じる。事務処理の多忙化もあり、児発管が保護者と話す機会が少なくなっていると思う。	児発管の事務作業を効率化し、保護者と対話の時間を増やす。また、ベテラン指導員のカムフラリしながら、複数人で対応していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校
------	--------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 12名

回収数 10世帯 (11名)

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	5	1	0	運動する時は少し狭いと思う 子供の人数に合わせて、場所を変えたりしている こともあるが手狭なのかなと思う。	なるべく広くなるようにレイアウトの工夫を行っている。 もう少し広いテナントに移転できるとベスト だと考えている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1	0	2	バリアフリーに関しては、玄関先に段差があるため 車椅子の子は大変かと思う。	申いずの利用者さんも在籍しているため、会社や建物の オーナーさん相談して改善に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	1		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	1	専門としてされる先生が一人しかいないため もう少し専門の先生を増えれば、先生たちの負担が 減るのかなと思います。	R7年4月から専門配置の職員が増える予定です。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	3	3	近くの公園などに行く時に地域の方と話したりする 機会はあるが、幼稚園などの交流はないように 思う。	今後、交流の機会を持てるように企画してみよう と思います。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	4	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	3	3			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	1	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1	1	2	玄関ドアを開けておくのが通常の運営なのか分かりませんが、玄関先に子供を残したまま目を離されるのはとても怖いと思います。また玄関ドアが開いている状態で子供が教室を抜け出すなど無いよう注意お願いしたいです。	利用者さんが入りやすいようにオープンにしていますが、入れ替わりがない時間帯は閉めておくようにしようと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	4		ヒヤリハット報告書を職員全員で共有し、改善に努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	1		多くの利用者さんたちが通所を楽しみにしていると感じています。今後も楽しんで通えるような事業所運営を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	1		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校	公表日	2025 年 2 月 15 日
------	--------------------	-----	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	パーテーションで区切った構造化。パーテーションが高く閉鎖的になっている部分で、段ボールを使いパーテーションを作り、高さの調整を行っている。	最低限あるとは思ってもっと広い方が教材も置いて運動の幅も広がる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	出来る限り午前中、放デイの児童と重ならないようにしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	死角がないよう空間構造化を行っている。子どもからの目線に入りやすいように見通しができる構造化	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日床の掃除を丁寧にし、危険なものがないように点検を心掛けている	エアコンなどを定期的に掃除する。取れない部分などは業者等を呼ぶ。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	圧迫感がない空間を作り出している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的な職員会を開いて意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	研修会など講義を受けてきた中でよかったことを職員間で報告する時間を設けている。	法人外での研修に参加できる機会が増えればなおさら良いと思う。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	その日の内容をスケジュールで提示し保護者にも分かりやすくしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	時折、行動分析を行い行動連鎖や行動単位での観察を行い、支援に活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	専門支援との関わりで活動内容を擦り合わせている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	定期的な療育内容の見直し。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	同年齢同士のイベントを定期的に開催している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	出来る限りその日に話をするようにしているが、翌日の朝一に報告することもある。	全員出勤の日は必ず会議を行うようにしたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	必ず、支援の内容と共に次回の予定や改善された課題を準備し行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	就学支援シートの記入を使って情報を伝えている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	6		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		近隣の児童館と交流する機会を作りたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	5		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		ママカフェなどのイベントを企画していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者との聞き取りを行い計画を作成し、話し合いを設けている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	いつでも相談を受けやすいように、こちらから話しかけるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0	6	相談を受けた時は、時間を設定し、速やかにどのような解決策があるか一緒に考え、アドバイスを行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログは誰が見ても読みやすい構成に工夫して作成できている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域から講師を募り、サイエンスイベントを開催した。	今後も地域住民の方にイベントに参加してもらいたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	定期的を実施し、振り返りもしっかりできている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年間計画の中で継続的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	対処法まで周知することができている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	発生時は書類を回覧している。	対処法についても議論する時間を増やしたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	会社内で研修があり、必ず参加するようにしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	会社内で研修があり、必ず参加するようにしている。		